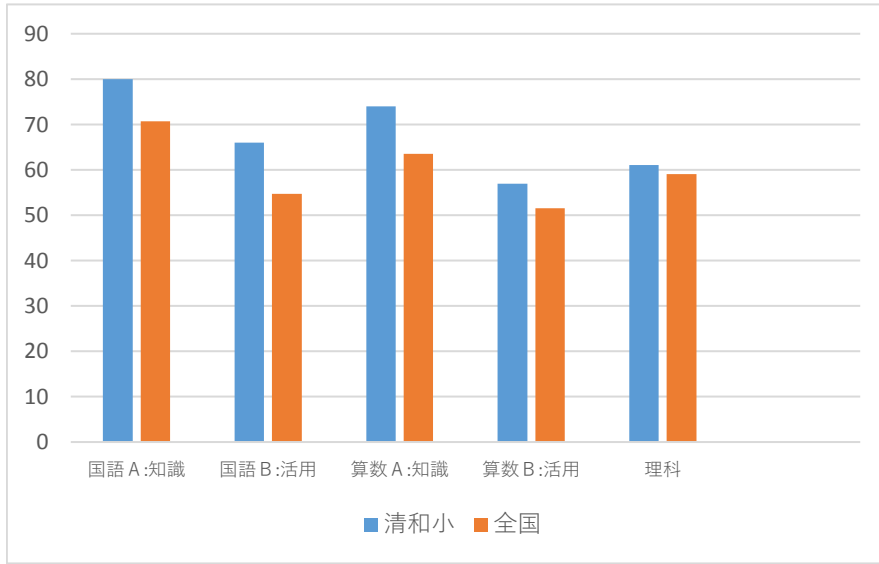




H30年度 学力・学習状況調査より



改善を要する項目	清和	全国
学校のきまりを守っている	85%	89%
地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりする。	12%	18%
テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る	42%	57%
家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習している。	57%	70%
家で、学校の授業の予習・復習をしている。	58%	62%
地域社会などでボランティア活動に参加している	18%	36%
算数の勉強が好き	54%	64%

全国より優れた値を示している項目	清和	全国
自分には良いところがあると思う。	91%	84%
毎日、同じくらいの時刻に起きている。	94%	88%
毎日、同じくらいの時刻に寝ている。	54%	41%
朝食を毎日食べている。	97%	85%
新聞を読んでいる。	27%	19%
将来の夢や目標を持っている。	85%	68%
人の役に立つ人間になりたいと思う。	79%	74%
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。	21%	17%
学校の授業時間以外の学習時間、普段一日あたり1時間以上3時間未満。	79%	53%
家で自分で計画を立てて勉強している。	75%	67%
家の人と学校での出来事について話をする。	88%	80%
今回の算数の記述式問題について、最後まで解こうと努力した。	90%	70%
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。	82%	77%

初秋の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、今年4月17日に行われました平成30年度全国学力・学習状況調査の結果について、子どもたちの意識調査も含めてご報告させていただきます。左の図でもわかるように、国語A:知識全国比113 国語B:活用121 算数A:知識117 算数B:活用111という結果です。全国比は、学年得点率÷全国得点率×100で算出しています。国語も算数も得点率において全国平均と比べて優位であり、特に国語B:活用と算数A:知識が高いと言えます。嬉しいことです。領域としては、国語の聞く話す・書く・読む、算数の数と計算・量と測定・図形・数量関係、どれもバランス良く力の着いている子が多いようです。例年清和の子は算数の図形領域が弱かったのですが、今年は、知識・活用ともに全国平均+10という結果でした。

理科は全国比103で、全国平均並、あるいは、やや高いという結果です。領域としては、自然事象への関心意欲が少し低いですが、観察実験の技能と知識・理解はよくできているようです。

こういった結果は、6年生の子どもたちが日頃からしっかりと勉強を頑張っていることと、どの問題も最後まで解こうと努力したこと、そして、何よりおうちの方が日頃より、子どもさんの話を良く聞いてくださり、早寝早起き朝ご飯という基本的な生活習慣をきちんとつけてくださっているお陰と感謝申し上げます。又、本校では、国語の「伝え合う力を高める」ことをテーマに授業研究しており、このことが子どもたちの学力に多少影響しているのではと喜んでおります。

一方、意識調査を見ると、たくさんの子が計画的に毎日1時間から2時間勉強しているようです。嬉しいことです。ただ、予習復習をしたり教科書を使って自主学習をしている子は少ないようです。自分から日々の学習内容にせまれるような学習ができれば、どんなに素晴らしい力が育っていくことでしょう。学校として、そういった指導も工夫して参りたいと思います。

又、「自分には良いところがある」「将来の夢や目標を持っている」「人の役に立つ人間になりたいと思う」と答えた児童が多いのは尼崎の未来を担う人材という意味においても頼もしい限りです。

今後においても、こういったデータを参考にしながら、取り組んで参りたいと思います。これからもご支援ご協力よろしく申し上げます。